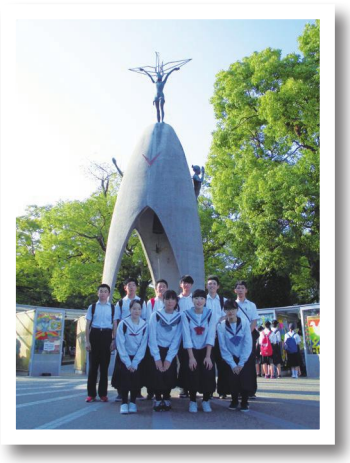
全国各地からたくさんの人が来ていて、それだけ平和を願う人がいるんだと気づいた。（生徒談）

原爆の子の像

市内の中学生一人ひとりが折った折り鶴を捧げました。

◆大山田中学校　葛原　友人

原爆の子の像には多くの折り鶴が捧げられていました。多くの折り鶴には折った一人ひとりの非核平和への思いがつまっていると思います。この強い思いが私たちだけではなく世界中に広がっていってほしいです。



平和記念資料館

原爆による惨状を示す写真や資料などの見学を行いました。

◆青山中学校　椎名　司真

資料館の3階の壁には当時の様子の写真がはってあり、その横には「失われた人々の暮し」という模型がありました。原爆が爆発する瞬間を再現し真上から見る事が出来ました。その様子があまりにも衝撃的でとても心に残りました。

◆島ヶ原中学校　近藤　秀平

資料館を回って印象に残ったのは「残留性被ばく」です。安否の分からない人を探そうとした人たちをも苦しめた原爆について学びました。学習を通して平和を実現しようとする思いがさらに強くなりました。

▼平和記念資料館

▶73年前にこれだけの被害があったことが、なかなか受け入れられなかった。（生徒談）

平和記念式典

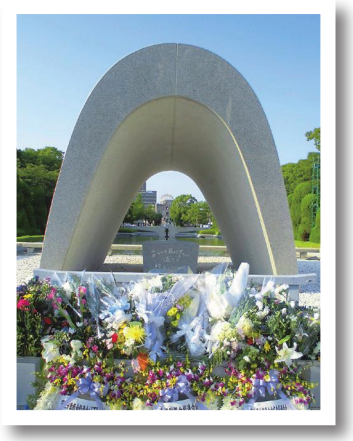
平和記念式典（広島市原爆死没者慰霊式・平和祈念式）に参列しました。

◆緑ヶ丘中学校　藤森　歩珠

式典では、晴れた空にせみの声が響き、当時の情景が広がっているようでした。黙とうで目を閉じると戦争の様子がよみがえってきて、改めて戦争の存在の大きさや、被害を痛感し、もう二度と戦争を繰り返してはいけないと強く考えました。

◆柏植中学校　辻本　凌太

平和祈念式で黙とうを行った際には、大きな会場が静寂に包まれました。これは会場が平和や非核化をしっかりと願っている証だと思いました。世界で初めて原爆が落とされた広島から平和の波が広がっていってほしいと思います。



▶世界中の人が参列していて、多くの人が核兵器がなくなることを祈っていると感じた。（生徒談）

放射線影響研究所

放射線影響研究所で放射線について学びました。

◆城東中学校　稲森　穂乃香

放射線影響研究所では長年にわたり放射線による健康被害について研究されていることを知りました。そこで、原爆によってガンや白血病のリスクが高まると知り、原爆の被害はずっと人々を苦しめる恐ろしいものだと改めて感じました。

▼２日間の派遣を終え、平和への思いを新たにした生徒たち

【問い合わせ】
人権政策課
☎47・1286　FAX47・1288